

## 東北地方整備局管内業務発表会で副局長賞、奨励賞を受賞

建設技術振興課

平成 22 年 6 月 21 日～22 日、国土交通省東北地方整備局で開催された平成 22 年度国土交通省東北地方整備局管内業務発表会で、本県の発表議題が副局長賞と奨励賞を受賞しました。

今回の発表会では、東北地方整備局管内から 130 の議題発表があり、本県からは、3 つの論題を発表しましたが、うち 2 つが賞を受賞しました。本県の 3 つの論題は、昨年度開催した県の土木技術研究発表会で発表したものであり、今回の発表会でも高い評価が得られました。

今後とも、このような発表会などを通じて、良好な社会資本整備を担う土木技術職員の技術力向上に向けて取り組んでいきます。

### ～ 本県の発表議題 ～

#### < 副局長賞受賞 >

「災害協定に基づくパトロール支援の共同改善 ～地域の防災は自分たちが担うという使命を持って～」  
(発表者: 県南広域振興局土木部 木村主任)

平成 20 年 6 月 14 日に発生し、本県に大規模な被害をもたらした岩手・宮城内陸地震 (M7.2) でのパトロール体験を踏まえ、迅速で適切なパトロールの報告方法を発表した。報告方法の活用は、被災状況把握と円滑な初期対応等を行ううえで有効性が極めて高いものとして評価された。



#### < 奨励賞受賞 >

「二級河川織笠川水門土木一期工事における被圧地下水対策」  
(発表者: 沿岸広域振興局土木部 宮古土木センター 小山主査)

山田町で整備を進めている二級河川織笠川水門において、上水道水源地への影響を考慮しながら薬液注入対策工事を実施した事例を発表した。現場条件が厳しい中、数多くの課題を克服しながら難工事を完成させたことが高い評価を得た。



「一般県道吉浜上荒川線における 1.5 車線の道路整備の計画策定について」

(発表者: 沿岸広域振興局土木部 高橋主任)

釜石市の一般県道吉浜上荒川線において、計画段階から地元住民と対話を重ね、合意形成を図りながら、局部的な拡幅や退避所の設置等を組合せた「1.5 車線の道路整備計画」の策定を行った事例を発表した。

